

# ふくまる通信 No.1

令和2年6月3日

茨城県・ふくまる推進協議会・茨城県産米銘柄化協議会

## 安定収量、大粒生産のための適期「中干し」の実施について

収量 600kg/10a 以上の確保，千粒重 23.5g 以上の大粒生産，全量 1 等を実現するためには，生育初中期にきちんと茎数を確保し，「コシヒカリ」より生育を旺盛にすることがポイントです。

適正な茎数確保を確認したら，過繁茂にならないよう速やかに「中干し」を実施して下さい。向こう 1 か月の天候の見通しは，気温は高く，日照時間と降水量はほぼ平年並みの見込みです。茎数確保が早まる事が予想されますので，中干しを始めるタイミングに注意して下さい。

### ○ 開始時期

中干しは，移植後 35 日を開始時期の目安とし，必要な茎数を確保してから始めて下さい。

【茎数から見た「ふくまる」と「コシヒカリ」の中干し開始時期】

	栽植密度 (株/坪)	ふくまる (中食・外食向け)	ふくまる (家庭精米向け)	コシヒカリ
中干し 開始時期	50	<u>26~28 本/株</u>	<u>25 本/株</u>	<u>22~23 本/株</u>
	60	<u>22~23 本/株</u>	<u>21 本/株</u>	<u>18~19 本/株</u>
茎数目標		400~430 本/m <sup>2</sup>	380 本/m <sup>2</sup>	330~350 本/m <sup>2</sup>



写真 1：「ふくまる（中食・外食向け）」中干し開始適期の様子（茎数 430 本/m<sup>2</sup>）

### ○ 効果

- ★ 余分な茎数（無効分げつ）の増加を抑えます。
- ★ 地中のガスを抜いてイネの根を健康に保ちます。
- ★ 田面を固めるので、倒伏しにくくなります。また，地耐力が向上し，収穫直前まで通水が行えます。これにより登熟が良くなり，乳白粒の減少や千粒重の向上につながります。

### ○ 実施期間・程度

- ★ 田面に軽くヒビが入る程度を基準とします（写真 2）。
- ★ 中干し期間は概ね 5~10 日程度とし，水持ちの良い水田では強めに，悪い水田では弱めに実施します。



写真 2：中干し終了時期様子

### ○ 終了時期の目安

- ★ イネの葉色が少し淡くなってきたら中干しの終了時期です。（カラースケールで 4~4.5）
- ★ 中干し終了後は 3~4 日間隔で入水と自然落水を繰り返す「間断かんがい」を実施しましょう。